

令和6年9月10日
小樽開発建設部

小樽開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

～第37回総合評価審査委員会を開催しました～

令和6年7月26日に第37回小樽開発建設部総合評価審査委員会を開催しましたので、審議概要について別紙のとおりお知らせいたします。

小樽開発建設部は、発注する工事の技術提案に対し、中立かつ公平な審査・評価を確保するため、学識経験者から意見を徴収することを目的として、小樽開発建設部総合評価審査委員会を設置しております。

今回の委員会では、令和5年10月1日から令和6年3月31日までに契約した工事13件が対象となり、そのうち3件を抽出して審議が行われました。

(対象工事)

- ・一般国道5号 仁木町 宮の川橋上部工事
- ・石狩湾新港 ー12m岸壁1工区建設工事
- ・一般国道5号 仁木町 宮の川橋下部工事

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部
技術管理課 課長 久保田 英樹 (電話 0134-23-8305)
技術管理課 課長補佐 宮武 功 (電話 0134-23-8305)
(小樽開発建設部ホームページ) <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



第37回 小樽開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	令和6年7月26日(金) 小樽開発建設部 第1会議室
委員長	穴沢 眞 (小樽商科大学 学長)
委員	高野 伸栄 (北海道大学工学研究院土木工学部門社会資本計画学研究室 教授) 八木 宏樹 (小樽商科大学 名誉教授) 山本 泰司 (北海道科学大学工学部都市環境学科 教授) (五十音順)
議事	【審議】 工事の審査について ① 一般国道5号 仁木町 宮の川橋上部工事 ② 石狩湾新港 - 12m岸壁1工区建設工事 ③ 一般国道5号 仁木町 宮の川橋下部工事

委員からの意見・質問、それに対する回答等

【審議】

令和5年10月1日から令和6年3月31日までに契約した工事の中から抽出された3件について工事概要説明及び審議を行った。(以下、入札参加者の提案またはその評価に関わる内容は、技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。)

○ 一般国道5号 仁木町 宮の川橋上部工事

意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> BIM/CIM 活用工事ならではの提案をしている社の評価が低いのはなぜか。 仕様書等と比較し付加的な効果が得られると評価した提案が高評価となるのか。 高評価となる提案は、コストがかかる技術が多く使われている提案か。 技術提案の評価において、企業が有する技術力はどのように評価反映されているか。 段階的選抜方式で、応募者を16社から10社に絞っているのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果が期待できるかの観点で評価している。 標準的な工法に基づき算定した価格の範囲内で、より効果が期待される提案を高評価としている。 コストをかけて高い効果を得るような提案はオーバースペックとして評価しない。 技術提案内容は企業の技術力を反映していると考えている。 受発注者の双方の負担軽減から、二次審査は10社程度としている。

○ 石狩湾新港 - 12m岸壁1工区建設工事

意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> 同じ技術提案となるテーマの設定は見直すべき。 応募価格に差が出るような方法はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の提案が考えられるテーマを設定する。 公示用設計書で詳細な条件を明示しているため、精度の高い見積もりとなっている。

○ 一般国道5号 仁木町 宮の川橋下部工事	
意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域要件設定の妥当性について。 ・ 参加者が評価結果を把握することはできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「総合評価落札方式の考え方（北海道開発局 工事管理課）」の評価基準及び標準配点をもとに設定している。 ・ 評価の合計点については公表しているが、個別の評価については公表していない。